



炭疽病への予防効果は期待以上。
予防の重要性を再認識させられたね。

山形県尾花沢市 遠藤 利一さん(48歳)



山形県の尾花沢市は全国でも名高いブランドすいかの産地。ここ尾花沢で、露地2ha、ハウス15aのすいかを作付するのは、JAみちのく村山 抑制すいか部会長 **遠藤利一さん**です。尾花沢で、いま一番問題視されているのが炭疽病。雨が連続と発生しやすく、伝染力が強いので病気が広がりやすいから怖い、と遠藤さんは言います。

遠藤さんが昨年からアミスターオプティフロアブル(以下、アミスターオプティ)を導入したのは、長年愛用しているアミスター20フロアブルをパワーアップした予防剤としての期待があったから。

「予防の重要性を再認識した」と遠藤さんは昨年を振り返ります。

「ここは大丈夫って油断してたんだろうね、去年、一部の圃場はアミスターオプティをまかなかったんだ。そしたら7月に長雨が続き、その圃場だけ炭疽病が出ちゃった。アミスターオプティで予防しておけば、被害は防げたのって後悔したよ(笑)」。

遠藤さんは今年、露地栽培ではつる枯病対象に、ハウス栽培では炭疽病対象に、それぞれアミスターオプティを使用。ハウス栽培では、交配25日後ぐらいに1000倍液を10aあたり300L、動噴で散布しました。

「予防効果は期待以上だね。おかげで今年は炭疽病が全然出なかった。収穫3日前まで使えるのも便利だから、作業に余裕ができるんだ」。

来年もアミスターオプティの予防散布で万全を期すよ、と遠藤さんは笑います。

 **アミスター オプティ**[®]
フロアブル

syngenta[®]

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー-X 21階
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。

※2007年10月1日現在の情報です。

TM